リーダーたちの本棚 VOL.92
Leaders as Reader

企画・制作 朝日新聞社メディアビジネス局 広告特集

心の土壌を肥やし、人を育む

「読書は心のインフラづくり。琴線に触れた言葉一つひとつが事業や社会活動の源です」。グループ71社、海外33拠点。建設、不動産仲介・管理を核に、金融、ホテル、出版、高齢者支援など多岐にわたる総合サービスを展開するスターツグループ。創業は1969年。村石久二会長が一代で築いた。

R【読む】Reading

本の引用にとどまらず自らの体験を足す

役所勤めだった父の出征を見送り、私を身ごもっていた母は、東京から長野の須坂に疎開しました。父は帰ることなく中国で戦死し、後を追うように祖父も亡くなり、母は女手一つで私たち四人の子どもを育ててくれました。母は優しい人で、私は叱られた覚えがありません。だからでしょうか、子母澤寛の『父子鷹』の世界に憧れました。旗本・勝小吉の豪胆な生涯と、その息子・麟太郎の成長を描いた物語です。「小さくまとまるな、大きな男になれ」と、おやじに叱ってもらっているような気持ちで読み、文武両道の麟太郎のように自分もなりたいと奮い立ちました。

高校卒業後、銀行に入行。それから丸2年間は、一心不乱に本を読みました。もっと教養を補わねばという強迫観念もあったかもしれません。大長編にも挑みました。山岡荘八の『徳川家康』。自分の人生を振り返ると、20代は信長のやんちゃ、30代は秀吉の向上心が重なります。私をよく知る人は、「家康の我慢強さと粘っこさ」と言います。それが当たっているとすれば、家康の生涯を丹念につづったこの長編が肥やしになっているに違いありません。

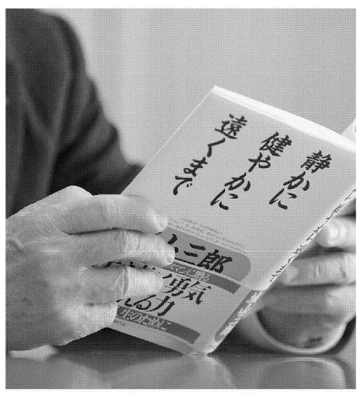
様々な本を読んで特に魅せられたのは、城山三郎さんの筆による人物伝の数々です。また、50歳を過ぎて城山さんの随筆も読み始め、そこにのぞく反戦への思いに感じ入り、改めて城山ファンになりました。『静かに 健やかに 遠くまで』は、城山さんの著書群の集大成といえます。バブル崩壊時、本書にある言葉を、頑張っている社員たちに向けたことがあります。当社は地道なビジネスを積み重ねてきたので、あの時に大きく足元が揺らぐことはありませんでした。ただ、不動産業界全体に動揺が広がったのは確かで、社員たちに、「人生はいわば一つの長距離競走だ。焦る必要はない。平らな心で一歩一歩を堅実に。最初から力の限り走る必要はない。急げば疲労をおぼえ、焦れば倦怠を招きやすかろう」と、本書にある言葉を投げかけました。けれどもそう言ってから、「はて、じゃあ自分は長距離競走の疲労や倦怠を知っているだろうか、知らないじゃないか」と感じ、フルマラソンへの挑戦を始めました。49歳の時です。夜の食事会が入っても早めに失礼して毎晩走り込み、7年続けてホノルルマラソンに出場しました。本の教訓をただ引用するだけでは真実味が薄れます。今も自らの体験を足して伝えるように心がけています。

若い人に読んでほしい平和へのメッセージ

私は父親を知りませんが、家族の愛情と豊かな自然に恵まれて育ちました。台風などの自然災害があった時は、男手のない家を心配して近所の人々が手伝いに来てくれました。そうした共同体のありがたみや自然への畏敬の念が失われてはならない。そんな思いで、昨年、「澄和」という一般財団法人をつくりました。人や自然の調和を願い、広義の平和を目指す財団です。今年発表した第1回「澄和Futurist(フューチャリスト)賞」では、原爆詩の朗読を続ける吉永小百合さん、沖縄戦の語り部活動を続ける中山きくさん、戦没画学生慰霊美術館「無言館」を表彰させていただきました。理事には、書家で詩人の相田みつをさんの長男で、相田みつを美術館館長の相田一人さんが名を連ねます。私がみつをさんのファンであることから、ご縁が生まれました。『にんげんだもの』に収載されたみつをさんの言葉一つひとつが好きです。人それぞれでいい、自然体がいい。そんなニュアンスが伝わってくる名著です。

自分で言うのも何ですが、私は運のいい男で、人にも仕事にも恵まれてきました。父をはじめ戦争で亡くなられた多くの方々にどこか見守られている感覚があり、それがゆえに和を大切にしてきたおかげと思っています。『すべての戦争は自衛意識から始まる―「自分の国は血を流してでも守れ」と叫ぶ人に訊きたい』は、全編を通じて反戦メッセージが貫かれた一冊です。こうした本を、若い人たちに読んでほしいと思います。

今の時代は即効性を期待させるノウハウ本や事例本があふれ、それらを乱読する傾向が強いように思います。私はもっぱら人間の心の部分の肥やしとなるようなものを好んできました。多岐にわたる当社の事業は、多くが自前で種をまき、じっくり育ててきたものです。手前味噌ですが、組織の土壌が肥沃であれば社員はすくすくと育ち、結果として事業も育つものです。読書も同じ。自分の心の土壌を豊かにしてくれる本を選び、折に触れて読み返すことを心がけています。(談)



スターツコーポレーション
代表取締役会長
兼グループCEO

村石久二(むらいしひさじ)さん

1944年長野県生まれ。63年須坂商高卒。大和銀行(現・りそなホールディングス)入行。69年千曲不動産(現・スターツコーポレーション)創業。2000年から現職。自著『夢現』『汗生』『種実』『澄和』(いずれもスターツ出版)を10年毎に出版。

L【率いる】Leading

創業来の理念は「人が、心が、すべて。」

「母親を早く楽にさせたいとの思いで、高校卒業後、銀行に就職しました。役員になるつもりで入行しましたが、頑張るほどむなしさを覚えました。しだいに『一度きりの人生、このままでいいのか』という思いが膨らみ、7年目の春に退社。大手を辞めるからには大手を目指したいと、消去法で不動産業を始める決意をしました」

そう語る村石会長。創業以来、「人が、心が、すべて。」という企業理念を掲げる。業界ではめずらしく、創業時から歩合制を採用していない。「数字や売り上げよりも、顧客満足度」との思いからだ。バブルの崩壊などがあってもリストラや合理化を行わない姿勢を貫いた。

現在、スターツグループは、「総合生活文化企業」を旗印にし、建築、土地有効活用、不動産仲介、建物管理などを軸に、金融、ホテル、出版、高齢者支援、保育など、人々の暮らしに身近なサービスを提供している。事業の多角化は、あらゆる"人財"が自分の適性に合った職種にめぐり合える組織を目指した結果という。

「スターツが成長を続けてこられたのは、何よりも人の力です。長期的、複眼的に物事をとらえ、お客様と真摯(しんし)に向き合い、個性を生かして人間味あふれるホスピタリティーを発揮する。そうした人財の育成に日々腐心しています」

積層ビジネスで過去最高益を更新

国内では、安定経営の礎となる不動産管理物件数が住宅は53万戸を超え、駐車場は13万台を超える。また、総合不動産店舗「ピタットハウス」が全国568店舗、高齢者支援・保育施設が75事業所(いずれも2016年11月現在)。16年3月期の売上高は1,600億円、営業利益は179億円、経常利益は176億円と、それぞれ過去最高を更新した。

「浮き沈みの激しいディベロッパー型ビジネスとは一線を画し、管理業で地道に収益を積み上げる『ストック型収益積層ビジネス』を実践してきました。グループの強みは、企画から設計、建設、テナント募集、管理、不動産売買、証券、信託など、不動産に関わるあらゆるサービスをワンストップでスピーディーに提供できることです。不動産業以外の事業とのシナジーも生まれています」

最近のトピックとしては、流山おおたかの森駅前市有地活用事業、タイムレスタウン新浦安プロジェクト、ホテル エミオン 東京ベイ新館新築工事などが進行中。また、21カ国33都市において、日系企業の海外進出にともなう不動産仲介、レンタル工場やホテルの開発など、各国のニーズに合わせたサービスを提供している。

同社は、スポーツ支援や文化協賛などにも積極的だ。

「経済性の追求だけでは真の豊かさを得られないと考え、身の丈の範囲で社会に貢献しようと長年取り組んでいます。また、これは個人の夢として近い将来、森があり、おいしい水が湧き、様々な果物が実り、美術館もあるような『澄和の里』をつくりたいと思っています。自然と調和することの尊さを実感できるような地を実現したいですね」

村石久二さんのおすすめ本棚

『新装版 父子鷹』上・下巻
(講談社文庫) 子母澤 寛・著
自らが果たし得なかった青雲の志を子に託す旗本の父・小吉と、その期待に応えようと不断の努力を続ける子・麟太郎。下町を舞台に清らかな父子愛を描く。

『徳川家康』全26巻
(講談社 山岡荘八 歴史文庫) 山岡荘八・著
三河・岡崎城での誕生から、今川家での人質生活、武田信玄や豊臣秀吉など有力大名との知の攻防を経て太平の世を築いた家康の75年の生涯をつづる。

『静かに 健やかに 遠くまで』
(新潮文庫) 城山三郎・著
箴言(しんげん)の魅力に引かれ、生きる指針としてきた城山三郎。その著書にも心にしみる会話や考えさせられる文章が多い。ビジネスパーソンの琴線に触れる言葉を集大成。

『にんげんだもの』
(文化出版局) 相田みつを・著
「つまずいたっていいじゃないか にんげんだもの」「花はただ咲く ただひたすらに」「その時 自分ならば どうする」など、著者の傑作の数々を収載。

『すべての戦争は自衛意識から始まる―「自分の国は血を流してでも守れ」と叫ぶ人に訊きたい』(ダイヤモンド社) 森達也・著
戦火が引き起こす悲劇への想像力を失ったまま「自衛」を叫ぶこの国は、どこへ向かうのか。取り返しのつかない事態を避けるために何ができるのかを提言。

ウェブ広告朝日
■朝日新聞社メディアビジネス局ウェブサイトでは、村石久二さんが語るリーダー論を紹介しています。
http://adv.asahi.com 朝日新聞 広告 検索

本連載「リーダーたちの本棚」が書籍化されました
『私をリーダーに導いた250冊』好評発売中
朝日新聞出版 ISBN 978-4-02-331547-1 本体価格 1500円+税

三笠書房
千代田区飯田橋3-3-1
◎詳細は⇒http://www.mikasashobo.co.jp
◎(株)ブックライナー〈フリーダイヤル〉0120-398899
(9:30〜19:00)からもご購入いただけます。
三笠書房BOOKSTOREで立ち読みができます!!
http://www.mikasabooks.jp

世界的大ベストセラー!!
『自助論』と双璧をなすスマイルズの最高傑作!!
CHARACTER Samuel Smiles
スマイルズの世界的名著
向上心
…自分の人生に種を蒔け!
S・スマイルズ 東大名誉教授 竹内 均 訳・解説
ISBN978-4-8379-5777-5●定価(本体1200円+税)
賢者の成功例、失敗例、働き方、人間関係、習慣……。
随所に散りばめられた豊富なエピソードが
世界中の人々を鼓舞し、充実人生へと導いてきた――
必読「人生論」の名著!
自分自身の一生のバイブルとして。
大切な人へのプレゼントにも。

「いいこと」がいっぱい起こるシリーズ 113万部
たった一言が嬉しい変化を続々引き寄せる!
イラスト版 話し方を変えると「いいこと」がいっぱい起こる!
植西 聰
ISBN978-4-8379-2664-1
●定価(本体1200円+税)
言葉には、
✱好きな人を振り向かせる!
✱仕事・人間関係がうまくいく!
✱キレイになる! ✱元気になる!
✱つまらないトラブルにさようなら!
…不思議なパワーがある。
好評既刊!
気持ちを整理すると「いいこと」がいっぱい起こる!
ほっとして、リラックスして、ポジティブに変身!
イラスト版
ISBN978-4-8379-2598-9●定価(本体1100円+税)

最新刊!! 知的生きかた文庫
「あの国」はなぜ、日本が好きなのか
「ニッポン再発見」倶楽部
ISBN978-4-8379-8447-4
●定価(本体600円+税)
歴史秘話…そして彼らは「親日国」になった!
ハッブル宇宙望遠鏡 宇宙の絶景
息をのむほど美しいカラー「宇宙画像」200点収録!
沼澤茂美/脇屋奈々代
ISBN978-4-8379-8448-1●定価(本体800円+税)
写真©Shigemi Numazawa

王様文庫 ベストセラー!!
絶対行きたいおすすめ神社ガイドつき!
引き寄せ
神社で開運
神さまに愛されるお参り&ご利益ブック
白鳥詩子
ISBN978-4-8379-6806-1
●定価(本体630円+税)
最新刊!! たちまち重版
眠れないほどおもしろい 百人一首
あの歌に"驚きのドラマ"あり!
13万部
板野博行
ISBN978-4-8379-6697-5
●定価(本体590円+税)
イラストレーション 中口美保

超ロング&ベストセラー
「効果抜群」のそうじ本!!
3日で運がよくなる「そうじ力」
うれしい変化続々!
弁田光洋
100万部突破!! 超ロングベストセラー
運気がくんくんあがる、"おそうじ本"の決定版!
そうじ力研究会代表
弁田光洋
ISBN978-4-8379-6362-2
王様文庫●定価(本体505円+税)
たったこれだけで、人生がガラリと好転します!
①換気する ②捨てる ③汚れを取る ④整理整頓 ⑤炒り塩
祝!! 100万部突破!!